

報道関係者各位

【「現代人と水」に関する意識調査結果】

**PET ボトルのゴミが『うしろめたい』(48.1%)
一人一ヶ月平均 約 20 本!**

PET ボトルの『ゴミは減らすべき』(79.3%)も『手間がかかる』(52.9%)
現実行動派は少数派(42.9%)

ゴミを出さない解決策として、ボトル回収型ウォーター・サーバー多数支持(85.5%)

水を通じて“生活”“環境”“健康”の創造を目指すアクアクララ株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：番場秀樹)は、今後、水の消費が増える夏季に向け、一般生活者を対象に「現代人と水に関する意識調査」を実施いたしましたのでご報告いたします。

<調査結果ダイジェスト>

- **ふだん家庭でミネラルウォーター&ボトルドウォーターを愛飲する人は少数(31.8%)**
 - 1位 水道水に浄水器や浄水剤を通した水(44.9%)
 - 2位 ミネラルウォーター・ボトルドウォーター(31.8%)
 - 3位 水道水(21.4%)

- **約6割が愛飲する一方で、約3割が以前飲用していたにも関わらず中止**

全体としては、現在も愛飲していると答えた人は(58.3%)で、以前飲用していたが現在は中止していると答えた人は(30.3%)である。

また、前者には20代(64.1%)が多く見られ、後者には40代(36.9%)が多く見られる。

- **飲用中止の理由は、『めんどろ』(59.2%)・『高い』(46.4%)・『PETゴミがでる』(25.6%)**

その他、PETボトル製品の水製品の飲用を中止した理由としては、『持ち運びにくい』(38.4%)、『特別おいしいわけではない』(20.0%)、『特別体にいいわけではない』(11.2%)というものがあつた。

- **一ヶ月のPETボトルの消費量は全体で約20本、ミネラルウォーターで約15本**

飲料・食品全体での、人々のPETボトルの一ヶ月平均消費量は20.85本である。
ミネラルウォーターでの人々のPETボトルの一ヶ月平均消費量は14.33本である。

- **PET ボトル消費は『うしろめたい』が約半数、『ゴミを減らすべき』は約8割**
 - ・ PET ボトルのゴミを出す事に抵抗があり、うしろめたく感じている人の数は全体の48.1%。
年齢層が高い程その傾向が高く、若い世代ほどその意識は薄れていく傾向がある。
 - ・ 環境問題等も考えるとゴミを減らすべきだと考えている人は79.3%と大多数を占める。
こちらも年齢の高い人ほど意識が高く、若い世代では意識は薄れていく傾向がある。

- **『ゴミを出さない』現実行動派は42.9%、PET ボトルの『ゴミ捨て面倒』52.9%**
 - ・ 『ゴミを出さない』現実行動派は特に50代（48.6%）に多く見られ、環境への意識の高さがうかがえる。
 - ・ 捨てに行くのに手間がかかり面倒であるという人もいて、特に20代（54.3%）、30代（60.2%）に多く見られる。

- **ボトル回収型ウォーター・サーバーに対するイメージ・感想**
 - ・ PET ごみが出ないので『助かる』85.5%
 - ・ PET ボトルのゴミを回収してくれるので『環境にやさしい』87.4%
 - ・ ボトルドウォーターは家庭用飲料水の『飲み方の未来形だ』58.1%
 - ・ 料理等様々な場面で使える家庭用ウォーター・サーバーを『使ってみたい』56.8%

- **ミネラルウォーター・ボトルドウォーターに関するその他トピックス**
 - 【飲用開始時期】「5～10年前」が最多（31.7%）
 - 【飲用理由】「味がおいしい」がトップ（58.3%）
 - 【飲用以外の用途】「ジュースやお酒を割る」（40.0%）、「料理」（34.6%）、「お米を炊く」（32.5%）、「製氷」（28.8%）と用途は多様
 - 【一度飲むともう水道水には戻れない】61.0%
 - 【ミネラルウォーターが飲料水の常識だ】42.2%
 - 【健康のためになるべく多く水を飲む】60.0%
 - 【今後、もっと飲み水のことに関心を払いたい】72.1%

【本件調査に関する問合せ、報道関係者問合せ先】

アクアクララ株式会社広報グループ 担当：駒井

E-mail pr@aquaclara.co.jp

御社名と連絡先をご記入の上でメールにてご連絡下さい。折返し当社担当よりご連絡させていただきます。